

2013年9月2日

報道関係各位

～宮崎県美郷町に建設される太陽光発電所に関するプレスリリース～

『廃校になった小学校を丸ごと使った太陽光発電所の建設』

と起工式の取材のお願いについて

○概要

2年前に廃校となった宮崎県的美郷町の旧水清谷小学校に太陽光パネルを設置する発電所が建設されることになり、9月4日午前に起工式が行われます。

パネルが設置されるのは、小学校の校庭だけではなく、残された校舎の屋上やプールにも敷き詰められます。これまで、廃校となった学校の跡地を使った例はありましたが、屋上やプールのなど学校の施設を丸ごと使った太陽光発電所は全国でも大変珍しいケースです。

発電能力はおよそ360kWで、年間41万kWh、およそ110世帯の電力をまかなうことができる計算です。

また、発電した電力は、PPS（特定規模電気事業者）の㈱エヌパワーに売電されます。このPPSでは、購入した電力を、地元的美郷町の施設へ通常より10%近く安い電力料金で販売することになっており、エネルギーの『地産地消』としてさらなる地元への貢献ができるとしています。

さらに、施設のメンテナンスは、地元の自治会と契約を結んで地域で行うことも決まっています。

起工式には、美郷町の菊田彦市町長などの自治体関係者なども参列し、廃校を利用した発電施設を歓迎する挨拶を行うことになっています。菊田町長は、「残念ながら廃校となった伝統ある学校が、校舎などを残したまま新しい形で利用されることをたいへん喜んでいる。」と話しています。

校舎などの施設を残している理由は、町として今後の活用を考えているためで、また、廃校になった学校は町内に他にも3校あり、同様に再生可能エネルギーの発電拠点としての利用もすでに検討されています。

設置工事は10月末には終了し、今年の年末か年始には送電が始まることになっています。

○起工式

- ・日時：9月4日（水） 午前10時～12時
- ・場所：宮崎県東臼杵郡美郷町南郷区水清谷（旧水清谷小学校跡地）
*太陽光発電所設置場所と同じ
- ・式次第：
 - 開式 修祓な、祝詞奏上など
 - 関係者挨拶（美郷町菊田町長など）
 - 閉式 神酒拝戴

○詳細データ

- ・太陽光発電所の設置場所：
宮崎県東臼杵郡美郷町南郷区水清谷（旧水清谷小学校跡地）
- ・旧水清谷小学校： 開校：明治5年 閉校：平成23年3月末

- ・太陽光発電設備： 総合発電出力：367.2kW
 - 校庭： 発電出力：241.2kW
 - 屋上： 発電出力：48.0kW
 - プール： 発電出力：42.0kW
 - ベランダ： 発電出力：36.0kW
- ・年間発電予測量： 約412,424kwh/年
- ・太陽光パネル： ドイツ、ソーラーワールド製 960枚
中国、フォノソーラ製 528枚
- ・総工費： およそ12,000万円

- ・太陽光発電所の施主： 有限会社 巴企画（代表取締役 土肥 幸子）
*東京都に本社のある太陽光発電所の運営を中心とした、再生可能エネルギー由来の発電事業を展開する会社
- ・買電を行うPPS（特定電気事業者）：
株式会社 エヌパワー（代表取締役社長 中山 貴啓）
愛知県清須市西枇杷島町宮前1丁目1番地
URL：<http://www.npower.jp/>
- ・メンテナンス： 地縁団体水清谷自治会（代表者 末永 敏幸）

- ・工事： 工事開始予定日：9月10日
工事完了予定日：10月下旬
送電開始予定日：12月もしくは1月
- ・宮崎県美郷町： 人口5,863人

○お問い合わせ先

広報担当：

株式会社エヌパワー 中山
電話 052-501-0886
FAX 052-501-0881
E-mail：t.nakayama@npower.jp

*同封した写真（旧水清谷小学校、完成予想図）のデータの送付についても担当までご連絡ください。

プレスリリース文責：

日本再生可能エネルギー総合研究所 北村
電話 090-1045-9837
E-mail：kitamura@jrri.jp
<http://www.jrri.jp/>

○写真資料など

- ・写真：旧水清谷小学校（次ページ 大きいサイズのファイルがあります。）
- ・太陽光発電所の完成イメージ図（添付PDF）



写真：旧水清谷小学校

以上